



主題名

自分らしさを見つけよう

教材名

トマトとメロン (出典: 相田みつを著「にんげんだもの」(文化出版局刊)より)

人権学習の視点

普遍的な視点「自尊感情」

主題・教材について

トマトにいくら肥料をあげてもメロンにはならないという、極めて当然のことから始まっているこの詩は、いつしかトマトやメロンに自分の姿を重ね合わせていることに気付かせてくれる。「トマトもメロンも、それぞれに自分のいのちを百点満点に生きているんだよ」という一文を考えさせることで、他者と比較するのではなく、自分らしさを見つけてそれを精一杯伸ばしていくことが大切であることに気付かせたい。そのことが、違う個性を持った友達を認めていく態度を育てることにつながる。

ねらい

自分には自分にしかないすばらしさがあり、それを見つけて高めていくことの大切さに気付けるようにする。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○トマトとメロンについて話し合わせる。	一斉	○トマトとメロンのどちらがどうして好きか話し合う。	○実物を提示し、児童の関心を高め、本音が出せる雰囲気を作る。	本物のトマトとメロン(写真・絵) 資料「トマト」とメロン」模造紙等
	トマトとメロンではどちらが好きかな			○ディベート的に話し合わせてもよい。	
展	トマトよりメロンのほうが高級だと決めつけているのはだれだろう				
	○「トマトとメロン」の「初め」の部分を読んで話し合わせる。	一斉	○「初め」の部分(P.22)を読んで、思ったことや感じたことを発表する。 〈指導例〉 「中」の部分は、見せないで話し合いを始めてもよい。	○「トマトとメロン」の詩を3つの部分に分けて提示し、「初め」「終わり」「中」の順番に考えさせる。 ○トマトとメロン、それぞれに良さがあるが、評価する者の価値観によって優劣をつけられていることに気付かせる。	資料「トマト」とメロン」模造紙等
	「○○みたいになれ」と言われて、いやな思いをしたことはないかな?				
○「トマトとメロン」の「終わり」の部分を読んで話し合わせる。	一斉	○「終わり」の部分(P.23下段)を読んで、思ったことや感じたことを発表する。	○今の自分に置き換えて、他人の評価や一般的な価値観によって嫌な思いをした経験がないか思い起こさせる。		
開	「自分のいのちを百点満点に生きる」について考えてみよう				
	○「トマトとメロン」の「中」の部分を読んで話し合わせる。 ○「自分のいのちを百点満点に生きる」の意味について考えさせる。	一斉	○「中」の部分(P.23上段)を読んで、思ったことや感じたことを発表する。 ○この一文に込められている意味について考える。	○自分を認め、大切にすることが大事であることを気付かせる。 ○違いがあることが、そのものの価値であり、人間も一人一人、それぞれの良さがあることを理解できるようにする。 ○他者と比較するのではなく、自分の長所を見つけて伸ばしていく努力が大切なことに気付けるようにする。	ワークシート
まとめ	○自分の長所をワークシートを書かせ、本時の学習のまとめをする。	個別	○自分の長所を見つけ、ワークシートに書く。 ○詩を再読し、振り返る。	○他者と比べるのではなく、小さなことでも自分らしいところを見つけられるように声をかける。	

評価

自分には自分にしかないすばらしさがあることに気づき、それを見つけて高めていくことの大切さに気付くことができたか。